

●天ヶ瀬ダムと巨椋池排水機場・大池神社見学学習会を10名が参加で20日実行

当日の 8 時 50 分には出席者の大半がご参集され出発、約束の 10 時には駐車場に現地集合の皆さんと挨拶をしました。ダム管理事務所の 2 階で柳川支所長からまずダムの全貌を眺めてくださいとのお話で、その大きさと両脇の岩山に驚き際立ったアーチ式ダムとして建設された云われが理解されました。そして見学者の皆さんに配布されるダムカードが 5 種類も発行されているのは天ヶ瀬の自慢だと紹介されました。ダムに沈んでいる大峰ダムや発電設備、そしてゲートの取り扱い、そして満水になった場合上部放水ゲートはこれまで 62 年間で 1 回開かれたことなどが説明されました。ダムの貯水量は琵琶湖の約 1/1000 が天ヶ瀬ダムの貯水量だとスマホで確認しました。そしてダム堰堤を見学に移り自殺防止策や安全監視員などの役割、そして特に堰堤の最上部の歩道とされている巾について重力式のダムとの違いが説明され、建設時のコンクリートの材料が節約されたとお話がありました。天ヶ瀬

天ヶ瀬ダム現地見学会 参加者募集 8月20日(木)

目的 山城大水害が発生して 70 年余が過ぎ、淀川水系に天ヶ瀬ダムや(瀬田川)高山ダム(木津川)の建設が実現し、特に木津川には 5 個のダムなどを管理する淀川ダム統合管理事務所で洪水や氾濫水害が防止されるようになり、近畿の  豊・



琵琶湖が大切にされてきた。今回宇治の木幡池の水管理職員からの放水路の完成に伴い流量の増加による川の安全度などについての解説要望があり、その機会を持ちました。❷

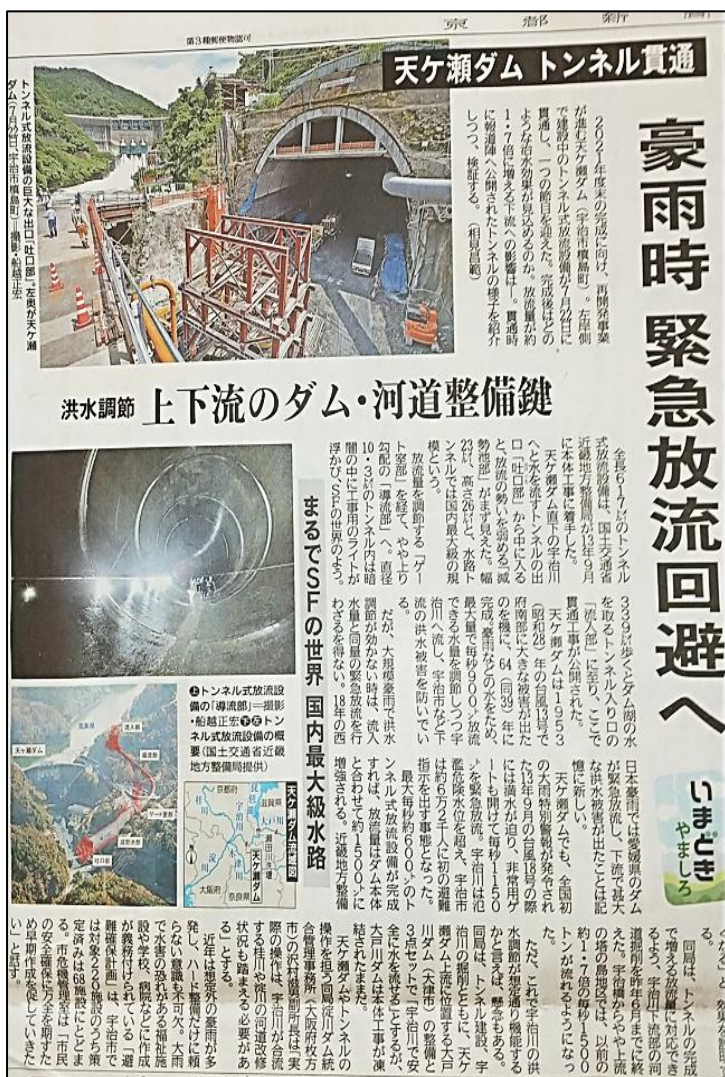
天ヶ瀬ダムは①洪水調整、②水道水の供給、③水力発電を目的とした三つの目的を持った多目的ダムです。2年前に完成した直径10mの水路トンネルによって、今まで900^m³/sだった流下能力が1500^m³/sになり琵琶湖周辺の洪水被害の軽減と宇治川や淀川本流への洪水能力が強化されます。天ヶ瀬ダムを見学して、新しい水路トンネルやその他の設備などについて学習したいと希望します。

参加申し込み fddb257@yahoo.co.jp 氏名 住所 電話番号 交通手段
受付人数 先着 15 名(先着順)

当日のスケジュール

9:00	事務所前集合	現地集合 ⁴⁾
10:00	現地駐車場	トンネル放流設備ゲート室 ⁴⁾
10:00～10:30	概要説明 ⁴⁾	
10:30～11:30	概要説明 ⁴⁾	
11:30	解散	駐車場 ⁴⁾
11:30～12:30	昼食	
13:00～13:30	久御山町資料館(山田屋敷)一口 ⁴⁾	
14:00～15:00	久御山排水機場見学(国交省)	巨椋池排水機場(農林水産省) ⁴⁾
15:00～15:30	大池神社	巨椋池干拓による魚類の犠牲を祭る神社 ⁴⁾
15:30	自由解散	

主催 特定非営利活動法人やましろ里山の会 京田辺市田辺深田 15 0774-64-4183



の堰堤の長さが186mで黒四ダムでは492mで山城大橋ほです。またダムの堰堤の高さは天ヶ瀬ダムは73mで日本一の黒四は186mでアーチ式ダムでは天ヶ瀬ダムは32位ということです。放流量は大体1秒間に600tが最大放水量で、新しく出来た放水トンネル(900t)を加えると1500tになるということでした。そして新放水トンネルの見学では先行トンネル(本体トンネルのための地盤調査)残っているところに案内を頂き最先端部分で岩をハンマーで叩くと火花が出るほどの硬さの強度でした。現在試掘トンネルは四本残されているとのことでした。約2時間の見学時間があっという間に過ぎ、参加者の皆さんはダムの凄さや水管理の苦労を改めて理解し深められました。

この日もいつものように酷暑日が全国で発生していましたが、巨椋池排水機場(農林水産省管轄)を訪ねました。ここでは資料館で巨椋池の古代からの物語風に解説されるビデオが上映され歴史が分かりやすく説明されました。巨椋池は漁業を生業とされてきましたが、巨椋池への流水が瀬田の洗堰が出来て宇治川と切り離され以来水質の劣化が進み日本最初の国の干拓事業が行われ、農業を生業とする村に変貌してきたとのことでした。そして排水機設置場の見学となりました。

2800馬力で16気筒のディーゼルエンジンが3基も据えられており、680馬力のモーター排水機2機が設置されていて天井高さは10mを優に超える高さでした。5基フル稼働すると1秒間で80m³を(ドラム缶40本分)排出すると説明されました。ここには農水省の他に国交省の同程度の久御山排水機場が隣接されています。これらの施設は宇治川の水位が低いときは自然放流されていますが降雨などで宇治川の水位が高くなると排水機でくみ上げて高くなった水位の宇治川に放流する施設とされているものです。

80年ほど前の山城水害が8月と9月に発生した豪雨で宇治川の堤防が決壊したので水系にダムが建設されたとされた施設(天ヶ瀬ダムや高山ダムその他のダム)です。

最後に巨椋池に生息していた多数の水の生き物が干拓事業で命を失ったのでその霊を祭る大池神社がつくられました。参拝し当時の村人の優しい心に触れて現場解散をいたしました。暑い中お付き合いくださった皆様有難うございました。ガイドをしていただきました職員の皆様も有難う御座いました。



●30周年記念の集いの返答 80通に到達しました。出席返答も20人から頂きました。

いよいよ参加返答締め切り日の9月1日が目前に迫ってきましたので、ご返答未送付に皆様ご協力をお願いします。本日の事務局会議で、特別表彰など検討の第一案がまとまってきました。また94歳の女性の参加返答を頂き大変嬉しく思っております。現在のところ

やましろ里山の会
結成30周年←
「記念の集い」
11月15日←

80 通の返答をいただき、20 名からはご参加との声を頂きうれしい限りです。ハガキでもメールでも Fax などの方法でご協力をお願いいたします。

●第 31 回里山講演会を開催いたします。

これまで毎年春秋に開催してきた講演会は 9 月 5 日(土)京田辺市中央公民館で開催いたします。今回の狙いは河川レンジャーと私たちの役割を狙いにして、枚方市にある河川レンジャー事務局の瀬戸口康子さんをメイン講師に迎えて、木津川で活躍されてきた南良靖男さん(嵐山在住)、中尾博さん(木津町在住)、田中美知世(奈良市在住)、山村武正(京田辺市在住)さんからもご報告をお話しいたします。苦労話や自慢話など豊かな経験を生かした内容になるのではないかとワクワクしています。堅苦しいお話でなくざっくばらんに座談会形式を含んだ内容にして欲しいとお願いしていますのでどうぞご期待ください。みなさんのご参加をお待ちしています。もちろんこれまでと同じく参加費無料です。

●前理事長の大村幸正氏が普賢寺の自作農園で肋骨を骨折されました。

昨年まで理事長をお願いしてきた大村幸正氏が普賢寺の畑で転倒されて肋骨を骨折されたニュースが届きました。骨折ですから静かにしておれば回復されると思いますが、これからも十分注意をされることを願っています。(85 才になっておられます)

●8 月 29 日(土)里山の会事務所で第 32 回通常総会第 2 回理事会を開催。全理事にメールにてお知らせを送信しました。

8 月最終週に年度第 2 回目の理事会を開催してきました。今年は 29 日(土)の午後里山の会事務所で開催いたします。連日暑さは続きますが天気予報ではこの日の午後には久しぶりの降雨が予想されています。理事各位には 25 日にメールで案内と議案書を送付いたしました。これまではハガキでの案内でしたが、全理事がメールアドレスをお持ちとなりましたので活用をさせて頂きました。ご一読をお願いいたします。理事会は定款に基づく機関会議なので定足数に達しないと流会となります。全理事諸氏は万難を排してご出席いただきますようお願いいたします。万一欠席の場合は委任状の提出をお願いします。

●第 3 回目の京都いきものフェスが 9 月 26 日(土)・27 日(日)に京都植物園で開催されます。



里山の会は竹蛇籠製作講習会と竹エンピツ・松かさツリーの工作と活動紹介の展示で参加を決定しました。当日のスタッフとして参加のご協力をお願いします。



ブタクサ



キツネノマゴ



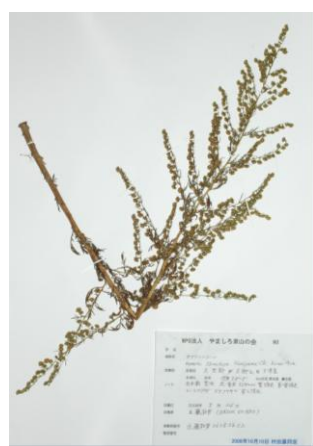
ツリガネニンジン



ワラヨモギ



カワラニンジン



マツカサススキ



八月に咲く木津川の花



ヒレタゴボウ

